

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和4年9月22日(2022.9.22)

【国際公開番号】WO2020/053664

【公表番号】特表2022-500423(P2022-500423A)

【公表日】令和4年1月4日(2022.1.4)

【出願番号】特願2021-513996(P2021-513996)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/437(2006.01)

A 6 1 P 35/00(2006.01)

A 6 1 P 15/14(2006.01)

A 6 1 K 45/00(2006.01)

A 6 1 P 43/00(2006.01)

A 6 1 K 31/565(2006.01)

A 6 1 K 31/519(2006.01)

A 6 1 K 31/506(2006.01)

10

【F I】

A 6 1 K 31/437

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 15/14

A 6 1 K 45/00

A 6 1 P 43/00 1 2 1

A 6 1 K 31/565

A 6 1 K 31/519

A 6 1 K 31/506

20

【手続補正書】

【提出日】令和4年9月13日(2022.9.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

a . (i) 1 - ベンジル - 6 - (3 , 5 - ジメチルイソオキサゾール - 4 - イル) - N - メチル - 1 H - イミダゾ [4 , 5 - b] ピリジン - 2 - アミン (化合物 I) 、 1 - ベンジル - 6 - (3 , 5 - ジメチルイソオキサゾール - 4 - イル) - 1 H - イミダゾ [4 , 5 - b] ピリジン - 2 - アミン、およびそれらの薬学的に許容される塩 / 共結晶から選択される B E T プロモドメイン阻害剤を含む第 1 医薬組成物と、

40

b . (ii) 第 2 の治療剤を含む第 2 医薬組成物を含む、それを必要とする対象のエストロゲン受容体陽性 (E R +) 乳癌を治療するための医薬組成物の組み合わせ。

【請求項2】

前記 B E T プロモドメイン阻害剤が化合物 I である、請求項 1 に記載の医薬組成物の組み合わせ。

【請求項3】

前記 B E T プロモドメイン阻害剤が化合物 I の形態 I のメシル酸塩 / 共結晶である、請求項 1 または請求項 2 に記載の医薬組成物の組み合わせ。

【請求項4】

50

前記第 2 の治療剤が選択的エストロゲン受容体分解薬 (S E R D) である、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の医薬組成物の組み合わせ。

【請求項 5】

前記第 2 の治療剤が選択的エストロゲン受容体モジュレーター (S E R M) である、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の医薬組成物の組み合わせ。

【請求項 6】

前記第 2 の治療剤が選択的 C D K 4 / 6 阻害剤である、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の医薬組成物の組み合わせ。

【請求項 7】

前記第 2 の治療剤がフルベストラントである、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の医薬組成物の組み合わせ。

【請求項 8】

前記第 2 の治療剤がパルボシクリブである、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の医薬組成物の組み合わせ。

【請求項 9】

前記第 2 の治療剤がアベマシクリブである、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の医薬組成物の組み合わせ。

【請求項 10】

前記第 2 の治療剤がリボシクリブである、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の医薬組成物の組み合わせ。

【請求項 11】

前記対象が乳癌療法で以前に治療されている、請求項 1 ~ 8 のいずれか一項に記載の医薬組成物の組み合わせ。

【請求項 12】

前記対象が C D K 4 / 6 阻害剤で以前に治療されている、請求項 1 ~ 8 のいずれか一項に記載の医薬組成物の組み合わせ。

【請求項 13】

前記対象が化学療法で以前に治療されている、請求項 1 ~ 8 のいずれか一項に記載の医薬組成物の組み合わせ。

【請求項 14】

前記対象が免疫療法で以前に治療されている、請求項 1 ~ 8 のいずれか一項に記載の医薬組成物の組み合わせ。

【請求項 15】

前記対象がヒトである、請求項 1 ~ 10 のいずれか一項に記載の医薬組成物の組み合わせ。

【請求項 16】

第 2 医薬組成物が、選択的エストロゲン受容体分解薬 (S E R D) および選択的 C D K 4 / 6 阻害剤から選択される第 2 の治療剤を含み、第 1 医薬組成物と第 2 医薬組成物が、用量制限毒性として血小板減少症を引き起こすことなく、ともに投与されうる、請求項 1 に記載の医薬組成物の組み合わせ。

【請求項 17】

前記第 2 の治療剤が、フルベストラント、パルボシクリブ、またはアベマシクリブである、請求項 16 に記載の医薬組成物の組み合わせ。

10

20

30

40

50